

愛知民報

2019年
12月1日
第2471号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番27号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月 400円 郵送料160円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

**愛知民報を
周りの人に**



碧南市民病院 11月23日

碧南市民病院

退院患者にハガキ

碧南市議 山口春美 さん

碧南市民病院は、西三河南部の2次医療を担う基幹病院です。隣の西尾市から市民病院の統合の話が持ちかけられています。病棟を大規模改修する計画がありますが、工事着工が延期されることになりました。

患者が退院してらくすると病院 「その後どうで」と聞くハガキがまだ届きます。いいと思います。病院前は地域活性化が発着する地図・交通の結節点あります。

みよし市民病院 開業医も頼りに

みよし市議 牧田充生

みよし市民病院は、療を担う基幹病院です。西三河北部医療圏唯一の自治体病院です。

市側は市民病院について、現在ある急性期の病床の一定数を回復する。巡回診察の拠点でもあります。

患者の丁寧な扱いから「かしづか」すか」の言葉が、豊田厚生病院に通える身近な病院になります。自宅から車で15分で来院できる立地条件があります。

豊田厚生病院は、開業医からも頼りにされています。みよし市民病院は、開業医からも頼りにされています。

みよし市民病院の急性期医療を行なっています。

医師不足固定化

愛知県社会保障推進協議会（愛知社保協）は7日㈯午前10時から、名古屋市熱田区の労働会館東館で、「地域医療構想」学習会を開きます。厚生労働省のねらいを学び、現場の実態を出し合つて交流しながら今後の運動の方向性を考えます。参加費500円。問い合わせ=☎052-8888-6631

白紙撤回し、地域医療拡充へ

安倍政権・厚労省の公立・公的病院切り捨て許さない

地域住民の命綱を切り捨てる安倍政権の医療改悪がすすめられようとしています。厚生労働省は、全国で15万床を超える病床削減を強行し「地域医療構想」を推進するために「再編検討」病院を名指しました。全国の公立・公的病院の30%の病院名を示し、来年9月までに結論を出すよう求めています。愛知県内の対象は9病院。住民から不安と怒りの声が巻き起こっています。地元の共産党議員らの談話を紹介します。

地元議員の訴え

津島市民病院は、
部津島医療圏の救急医療を
担っている医療機関です。

津島市民病院は救急患者を断りません。急性期医療は病院の貴重な収入源でもあります。2年連続黒字です。津島市立の看護専門学校もあります。市民病院は、看護師育成にとっても必要な施設です。

2015年11月に新築移転したばかりです。今年4月から市直営から指定管理者に運営者が変わりました。市議団は市民要求を指定管理者に伝えていきます。

1年間の入院患者は9月現在、約

年同月比約600人増。外来は2万7000人で、年同月とほぼ同じです。住民からは「新しい市民病院に期待します」という声が議団に寄せられています。

一宮市立木曽川市民病院は、合併前の旧木曽川町立病院です。一宮市に合併後も急性期医療を担つていて、一宮市民病院の後方支援病院です。特に大切だと思っているのは、手術など急性期医療を中心とする「としての機能を一層進めること」として存続する方針を示しています。

2年連続黒字

津島市議
伊藤恵子

建て替えたばかり

あま市議
野中幸夫

リハビリ受け入れ

一宮市議
彦坂和子

「再編・統合」対象リスト（県内）

厚生労働省が「統合・再編」の対象にした愛知県内の公立・公的病院は次の通り。○津島市民病院○あま市民病院○一宮市立木曽川市民病院○愛知県心身障害者コロニー中央病院○みよし市民病院○碧南市民病院○中日病院○独立行政法人国立病院機構東名大病院○グランゼ病院